

2022年6月15日

日本共産党・前県会議員

加藤なを子活動レポート



県政へのかけ橋

<連絡先>藤沢市藤沢2-3-2

TEL0466-25-4776 FAX 25-4761

発行：日本共産党・加藤なを子事務所



「家計の値上げの許容度が高まってきている」って?!

(日銀黒田総裁)

昨年度から0.4%減額改定の「年金額改定通知書」が届いています。対話した市民の方々から年金減額に怒りの声が多く寄せられました。賃金は上がらず、物価が上がって厳しい家計なのに、年金を増やすのがあたりまえ。「減額はひどい!」の声は当然です。日銀黒田総裁の「家計

の値上げの許容度が高まってきている」と驚きの発言があり、国民の暮らしに心を寄せることができないことが、明らかになっています。



日本共産党県議団は「物価高騰に対する緊急経済対策の実施を求める申し入れ」を黒岩知事と花田教育長宛に提出しました。部局横断的に物価対策本部を設置して中小業者の経営支援を

行なうこと、生活困窮者対策本部の機能を拡充し取り組みを行うこと、国に対して要請を行なうことが主な内容です。県民の暮らしに寄り添い物価高騰から生活と営業を守り、交付金の活用にとどまらず、県独自の財政措置を行うことも求めました。私も県議団と一緒に引き続き、県民の暮らしと命を守る県の役割と責任を果たすよう強く求めていきます。

なを子の花だより

バラ 共通している“愛や美”

バラの季節になりました。豪華さと気品、やはり美しさは格別ですね。花言葉はバラの色や本数によって異なりますが、共通しているのは、愛や美です。1本は、ひとめぼれ・あなたしかいない。2本は、この世界は2人だけのもの。3本は、告白・あなたを愛しています。99本は「永遠の愛」「ずっと好きだった」。そしてなんと100本は「100%の愛」だそうです。贈る本数が大切だったんですね。元気なバラを選ぶコツは、茎が太いことや花卉の数が多いいものが多いそうです。歌の「100万本の薔薇」は、好きな方への切ない想いの歌詞ですが、100万本には深い意味があるのでしょうか?



菅前首相による講演会は中止を求める声

政治的中立性が侵される

統廃合される神奈川県立瀬谷西高校で行なわれようとしていた、菅前首相による講演会は中止になりました。よかったです。

共産党県議団は、いち早く県教委と2回懇談を行ない、中止要請をしていました。県教委は学校が決めたこと、テーマが絞られているから中立性がたもたれていると説明したそうです。学校には、抗議や中止を求める県民の声があいつぎましたが、学校は「県と相談して決めた」と説明しています。食い違う主張ですが、何故でしょうか。いったい誰が企画して、どのような経過でこのような講演会が決まったのか明らかにすべきです。県教委も学校も教育への不当な介入、おかしい、やめるべきだと思わなかったのでしょうか？

報道では、県会議員が関わっていると記載されています。選挙直前であり、しかも高校3年生向けです。選挙権のある生徒もいます。6日付で自由法曹団が中止を求める文章をだしました。特定の政党のみを招いて講演会を実施することは教育基本法第14条2項で禁止されている「特定の政党を支持するための政治教育にあたるもの」で容認できないと、講演会の開催に強く抗議し、中止を求めました。

多くの団体、多くの個人の方々が、教育現場にあってはならないこと、不当な介入は許せないと声をあげました。

振り回されたのは、生徒たちです。18才になり、初めての投票。一人ひとりが、有権者として自ら判断して政治参加できるように、主権者教育をすすめ、投票行動を保障することが大切です。

ゆっくり朝ごはん

今朝は雨のため、月曜日定例の藤沢市議団との駅宣伝は、お休みになり、ゆっくり朝ごはんを食べました。

小田原の父からもらったアジの干物と、ナスとしめじの味噌汁（ミニトマト入り）ぬか漬けと切り干し大根です。皆さんの朝は、ごはん？それともパンですか？パンも好きなので時々食べますが、食料品の値上げは家計に響きます。



消費税5%減税は、今すぐ実施して生活応援の政治に変えましょう！

社会保障の財源は、大企業の内部留保（ため込み金）に税金をかけ、大金持ちの方々に応分の負担を求めましょう！